

日本発達支援学会『発達支援学研究』投稿の手引き

1. 投稿論文は、『発達支援学研究』フォーマット』に従う。
2. 投稿論文は、用紙の大きさを A4 判白紙縦置きとし、1 ページは 40 字×35 行横書きとし、20 ページ以内とする（論文題・日本語要約・本文・文献・資料・脚注・表・図・英語要約・付記等すべてを含む）。本誌 1 ページは、1400 字分に相当する。やむを得ず規定分量を超える場合は、理由書を提出する。
3. 投稿論文には、日本語及び英語の要約をつける。ただし、「実践報告論文」の場合は英文要約を省略することができる。日本語要約は 400～600 字、英語要約は 100～175 語とする。英語要約では、タイトルはつけ、著者名は省く。
4. 投稿論文には日本語および英語のキーワードをつける。キーワードは 5 つ以内とする。
5. 投稿論文は、Word ファイル（1 部）、PDF ファイル（1 部）の形式にして、「投稿論文添付票」と共にメールで jadsjournal@gmail.com に投稿する。
6. その他、投稿原稿の作成に際しては、以下の点に注意する。
 - 1) 本文中の記述は常体で記述し、常用漢字、現代かなづかいを用い簡潔・明瞭に記述する。
 - 2) 句読点は日本文は読点（、）と句点（。）、欧文はコンマ（,）とピリオド（.）を使用する。
 - 3) 表題・小見出し・節タイトルに使用するフォントはゴシック体、本文に使用するフォントは明朝体とする。本文中の文字の大きさは原則 10.5 ポイントとする。
 - 4) カタカナは、外国人名ならびに原則として日本語化した外国語を記述する時にのみ用いる。
 - 5) 数字は、原則として算用数字を用いる。
 - 6) 図表は必要最小限とし、重複は避ける。図表も原稿の本文中に挿入する。表の題はその上部に、図の題は下部に書く。写真は、図に含められる。説明文はいずれも下部に記す。図、表、写真等の題、説明文、図表中の文字は英語にしてもよい。
 - 7) 本文中で引用した文献は論文の最後に、「文献」として、著者名のアルファベット順に一括して挙げる。
 - 8) 脚注・付記は必要最小限とし、本文中の任意の場所に挿入する。
 - 9) 英語要約の作成は、熟達した人によるか、その校閲を経ることとする。
 - 10) 外国人名、外国地名は原語で記載する。これら以外の専門用語については、外国語の使用をできるだけ避け、原語を用いる場合はできるだけ和訳を併記すること。

11) 略語は一般に用いられているものに限る。ただし、必要な場合には、初出の時に、その旨を明記する。

7. 不明な点についての問い合わせ先は以下の通りである。

日本発達支援学会『発達支援学研究』編集委員会

e-mail : jadsjournal@gmail.com